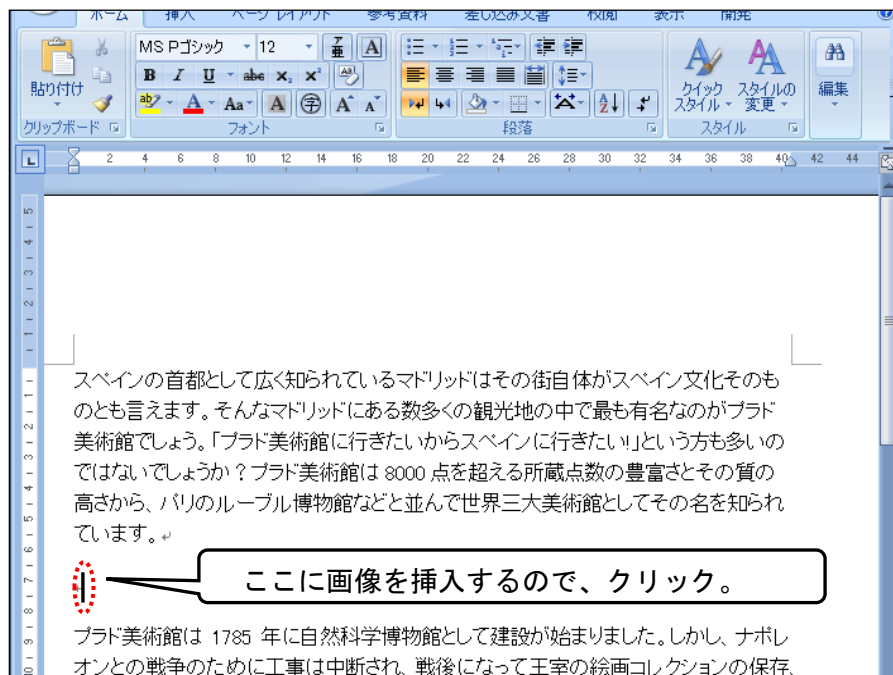


【6】視覚効果を高める

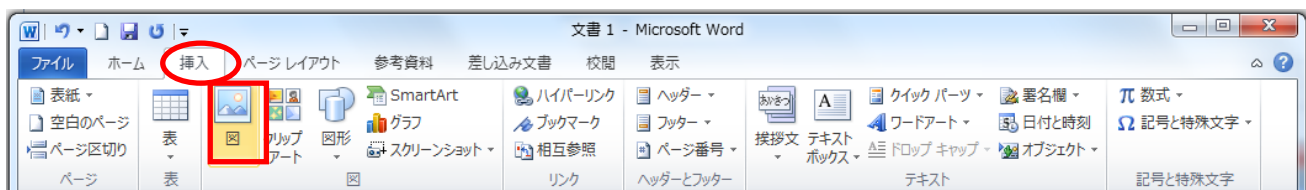
(1) 図を配置する (イラスト・写真などの挿入)

1) 文書の途中に画像を貼り付けるには

- ① 文書中の画像ファイルを貼り付ける位置をクリックして選択します。



- ① 「挿入」タブ → 「図」をクリック。





画像が挿入されました。

スペインの首都として広く知られているマドリッドはその街自体がスペイン文化そのものとも言えます。そんなマドリッドにある数多くの観光地の中で最も有名なのがプラド美術館でしょう。「プラド美術館に行きたいからスペインに行きたい!!」という方も多いのではないのでしょうか？プラド美術館は 8000 点を超える所蔵点数の豊富さとその質の高さから、パリのルーヴル博物館などと並んで世界三大美術館としてその名を知られています。♪



プラド美術館は 1785 年に自然科学博物館として建設が始まりました。しかし、ナポレオンとの戦争のために工事は中断され、戦後になって王室の絵画コレクションの保存、公開を目的として 1819 年に開館しました。その膨大なコレクションはスペイン王室が所蔵したものがベースとなっており、現在でも美術品の収集は続いています。この展示品の中には盗品や強奪したものは一点もありません。誇り高きスペイン人がここにも垣間見ることができますね。♪

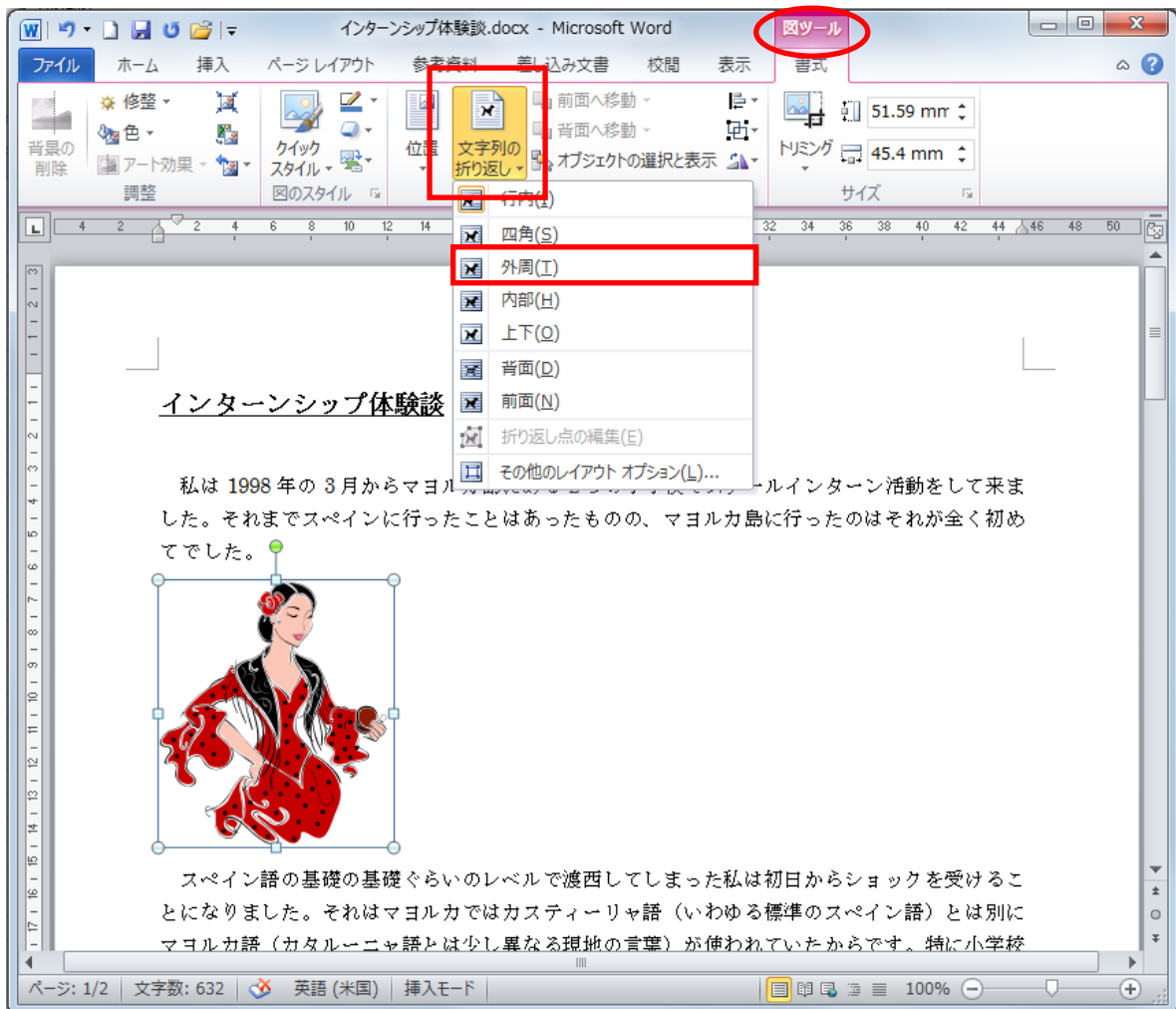
2) 図の周囲に文章を回り込ませるには

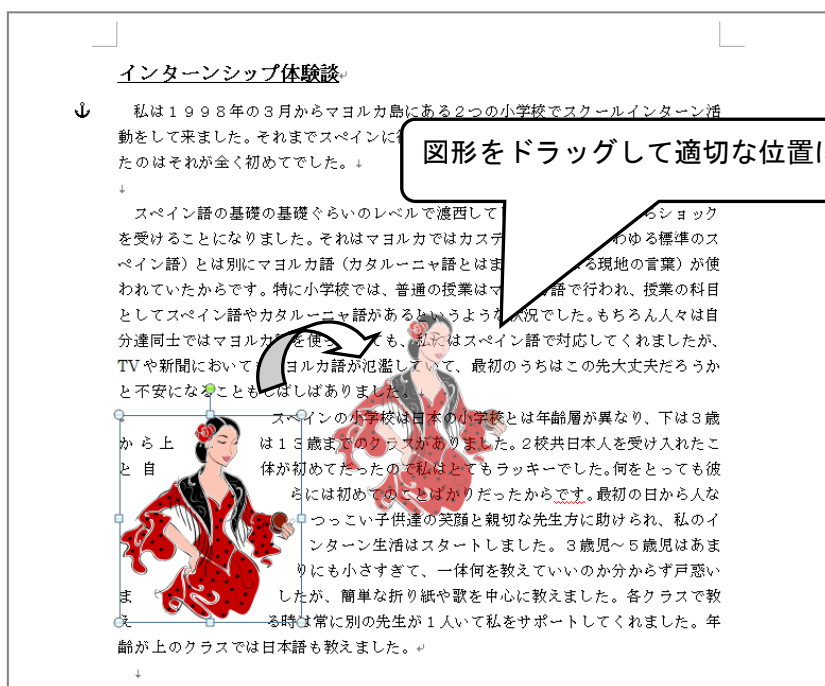
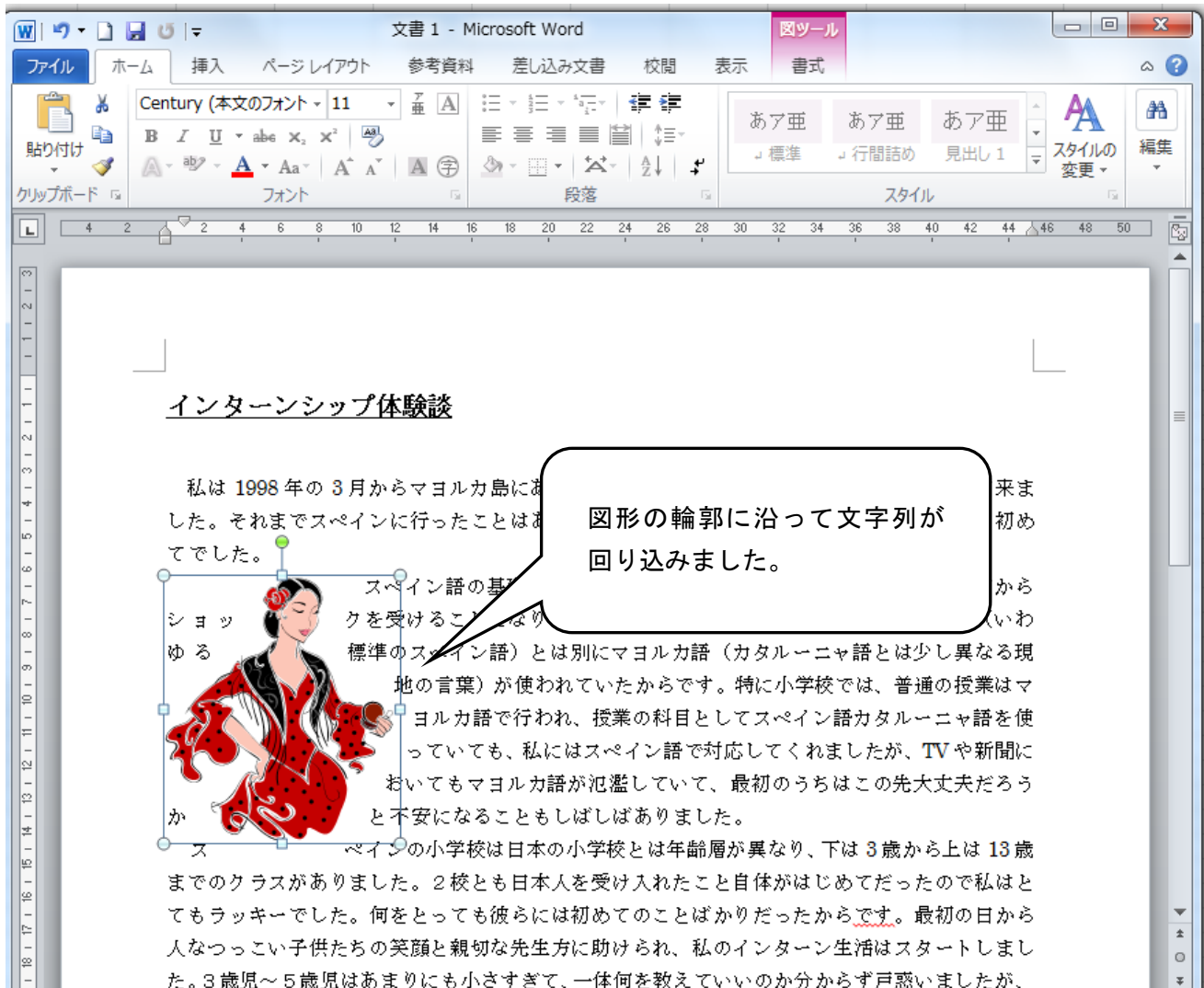
文中に挿入した図やイラストは、本文との位置関係を調整することができます。図やイラストと本文の配置を整えると、完成度の高い文書レイアウトに仕上げることができます。

★ 図の輪郭に沿って文章を回り込ませるには（外周）

① 目的の図をクリックして選択します。

「(図形ツール) 書式」タブ → 「文字列の折り返し」▼一覧から「外周」を選択します。





図形の移動に伴い、図形の輪郭に沿って自動的に文字列が回り込みます。

インターンシップ体験談

私は1998年の3月からマヨルカ島にある2つの小学校でスクールインターン活動をしてきました。それまでスペインに行ったことはあったものの、マヨルカ島に行ったのはそれが全く初めてでした。

スペイン語の基礎の基礎ぐらいのレベルで渡西してしまった私は初日からショックを受けることになりました。それはマヨルカではカスティリヤ語（いわゆる標準のスペイン語）とは別にマヨルカ語（カタルーニャ語とはまた少し異なる現地の言葉）が使われていたからです。特に小学校では、普通の授業はマヨルカ語で行われ、授業の科目としてスペイン語やカタルーニャ語があるという状況でした。もちろん人々は自分達同士ではマヨルカ語を使っていますが、私にはスペイン語で対応してくれましたが、TVや新聞においてもマヨルカ語が氾濫していて、最初のうちはこの先大丈夫だろうかと不安になることもしばしばありました。

スペインの小学校は日本の小学校とは年齢層が異なり、下は3歳から上は13歳までのクラスがありました。2校共日本人を受け入れたこと自体が初めてだったので私はとてもラッキーでした。何をとりも彼らには初めてのことが多かったからです。最初の日から人なつこい子供達の笑顔と親切な先生方に助けられ、私のインターン生活はスタートしました。3歳児〜5歳児はあまりにも小さすぎて、一体何を教えていいのか分からず戸惑いましたが、簡単な折り紙や歌を中心に教えました。各クラスで教える時は常に別の先生が1人いて私をサポートしてくれました。年齢が上のクラスでは日本語も教えました。



★ 文章の回り込ませ方の種類

「文字列の折り返し」には次のような種類があります。

【四角】

図の周囲の四角い範囲に沿って文字を回り込ませる。

宇宙の大きさ

地球上から見る事ができる宇宙の大きさは、我々人間が物理的に観測可能な宇宙の時空の最大範囲を指す。宇宙は膨張し続けているため、宇宙の大きさを表現するにはいくつかの単位がある。距離測定(en.distance measures (cosmology))を参照してください。

地球から、人類が電波により観測可能な宇宙の果てとは、我々が観測できる光のうち、最も古い時代に光が放たれた空間を示す。光が放たれたとき、つまり約137億年前(宇宙の暗れ上がり直後)この空間は地球から地球を中心とする金方向に宇宙論的固有距離において約4200万光年離れたところにあった。そしてこの空間は当時地球の位置から光の約60倍の速度で遠ざかっていた。この空間までの現在の距離である共動距離(Comoving distance)は、約465億光年と推定されている。宇宙の暗れ上りの直後から約137億年の間に、宇宙は約1100億程度膨張したと考えられる。この空間は現在、光速の約3.5倍の速度で地球から遠ざかっており、いつか宇宙が生まれてから現在に至るまで常に超光速によって観測できる天体の中には、その天体が生まれてから現在に至るまで常に超光速の後退速度となるものが存在する。



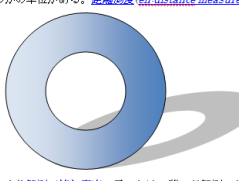
【行内】

初期設定では、この「行内」で貼り付けられる。

宇宙の大きさ

地球上から見る事ができる宇宙の大きさは、我々人間が物理的に観測可能な宇宙の時空の最大範囲を指す。宇宙は膨張し続けているため、宇宙の大きさを表現するにはいくつかの単位がある。距離測定(en.distance measures (cosmology))を参照してください。

地球から、人類が電波により観測可能な宇宙の果てとは、我々が観測できる光のうち、最も古い時代に光が放たれた空間を示す。この空間から光が放たれたとき、つまり約137億年前(宇宙の暗れ上がり直後)この空間は地球がある位置から地球を中心とする金方向に宇宙論的固有距離において約4200万光年離れたところにあった。そしてこの空間は当時地球の位置から光の約60倍の速度で遠ざかっていた。この空間までの現在の距離である共動距離(Comoving distance)は、約465億光年と推定されている。宇宙の暗れ上りの直後から約137億年の間に、宇宙は約1100億程度膨張したと考えられる。この空間は現在、光速の約3.5倍の速度で地球から遠ざかっており、いつか宇宙が生まれてから現在に至るまで常に超光速によって観測できる天体の中には、その天体が生まれてから現在に至るまで常に超光速の後退速度となるものが存在する。



【背面】

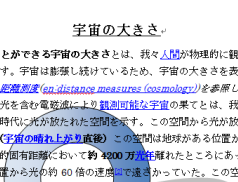
図は文章の背面に配置される。

宇宙の大きさ

地球上から見る事ができる宇宙の大きさは、我々人間が物理的に観測可能な宇宙の時空の最大範囲を指す。宇宙は膨張し続けているため、宇宙の大きさを表現するにはいくつかの単位がある。距離測定(en.distance measures (cosmology))を参照してください。

地球から、人類が電波により観測可能な宇宙の果てとは、我々が観測できる光のうち、最も古い時代に光が放たれた空間を示す。この空間から光が放たれたとき、つまり約137億年前(宇宙の暗れ上がり直後)この空間は地球がある位置から地球を中心とする金方向に宇宙論的固有距離において約4200万光年離れたところにあった。そしてこの空間は当時地球の位置から光の約60倍の速度で遠ざかっていた。この空間までの現在の距離である共動距離(Comoving distance)は、約465億光年と推定されている。宇宙の暗れ上りの直後から約137億年の間に、宇宙は約1100億程度膨張したと考えられる。この空間は現在、光速の約3.5倍の速度で地球から遠ざかっており、いつか宇宙が生まれてから現在に至るまで常に超光速によって観測できる天体の中には、その天体が生まれてから現在に至るまで常に超光速の後退速度となるものが存在する。

天体から放たれた光が地球にたどり着くまでの時間に光速をかけたものは光行距離(Light travel distance)とよばれる。これは光が地球に届くまでの間に、光の放たれた道のりを表す。光行距離では、距離測定により観測される宇宙の年齢をかけたものだが、この値は先に述べた2つの距離(465億光年、4200万光年)と値が異なる。なぜならば、光が地



【前面】

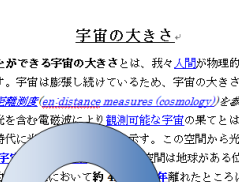
図は文章の前面に配置される。

宇宙の大きさ

地球上から見る事ができる宇宙の大きさは、我々人間が物理的に観測可能な宇宙の時空の最大範囲を指す。宇宙は膨張し続けているため、宇宙の大きさを表現するにはいくつかの単位がある。距離測定(en.distance measures (cosmology))を参照してください。

地球から、人類が電波により観測可能な宇宙の果てとは、我々が観測できる光のうち、最も古い時代に光が放たれた空間を示す。この空間から光が放たれたとき、つまり約137億年前(宇宙の暗れ上がり直後)この空間は地球がある位置から地球を中心とする金方向に宇宙論的固有距離において約4200万光年離れたところにあった。そしてこの空間は当時地球の位置から光の約60倍の速度で遠ざかっていた。この空間までの現在の距離である共動距離(Comoving distance)は、約465億光年と推定されている。宇宙の暗れ上りの直後から約137億年の間に、宇宙は約1100億程度膨張したと考えられる。この空間は現在、光速の約3.5倍の速度で地球から遠ざかっており、いつか宇宙が生まれてから現在に至るまで常に超光速によって観測できる天体の中には、その天体が生まれてから現在に至るまで常に超光速の後退速度となるものが存在する。

天体から放たれた光が地球にたどり着くまでの時間に光速をかけたものは光行距離(Light travel distance)とよばれる。これは光が地球に届くまでの間に、光の放たれた道のりを表す。光行距離では、距離測定により観測される宇宙の年齢をかけたものだが、この値は先に述べた2つの距離(465億光年、4200万光年)と値が異なる。なぜならば、光が地

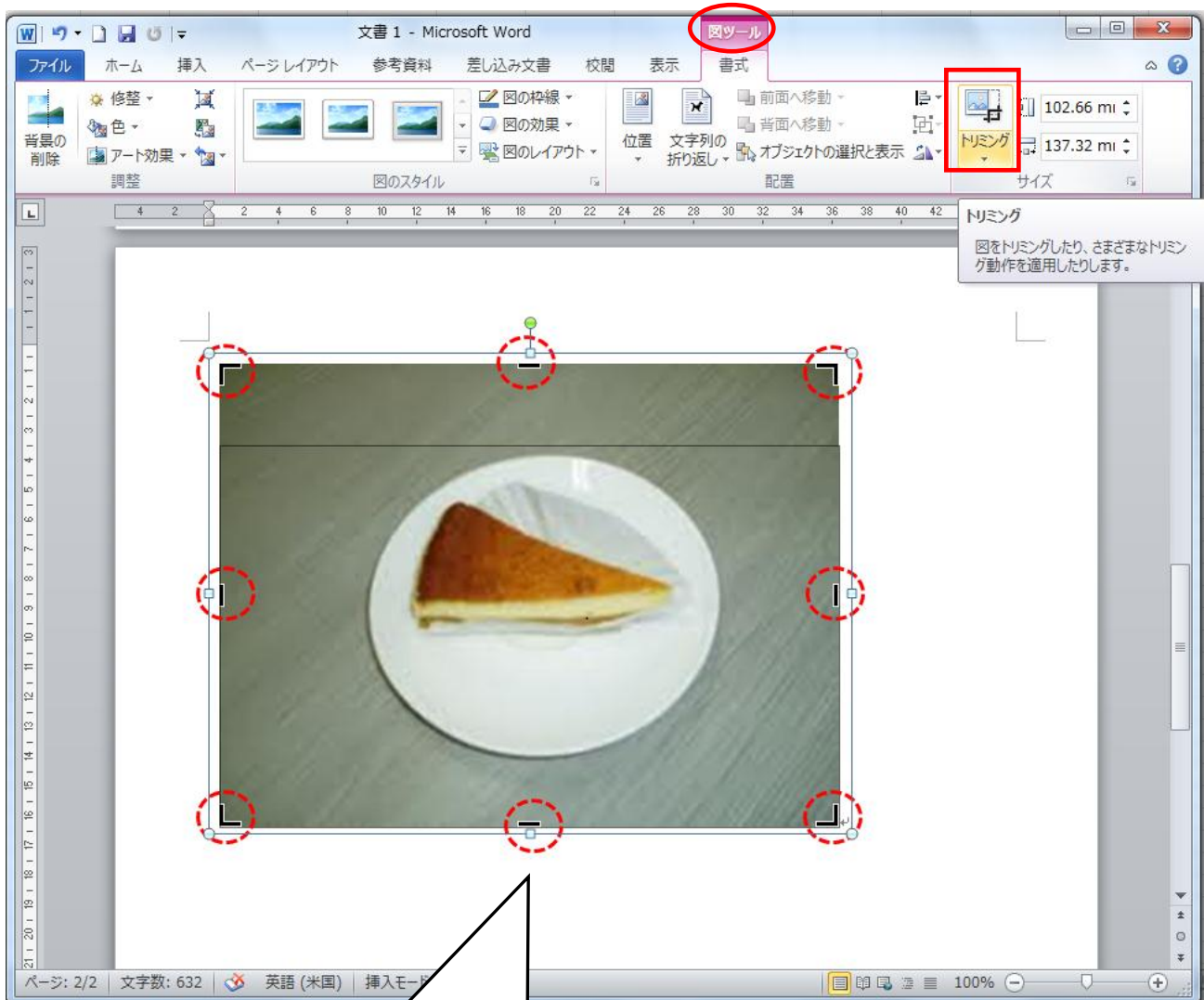


3) 図の不要な部分をカットして表示するには（トリミング）

文中に貼り付けた画像（図）から不要な部分を取り除いて必要な部分だけを表示することができます。（トリミングする、といいます。）

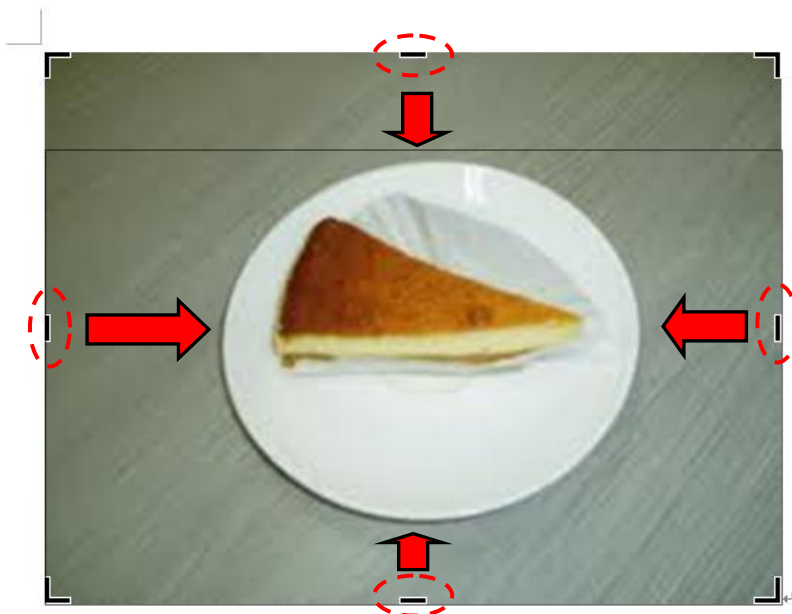
① 図を選択します。

「書式」タブ → 「トリミング」をクリックします。



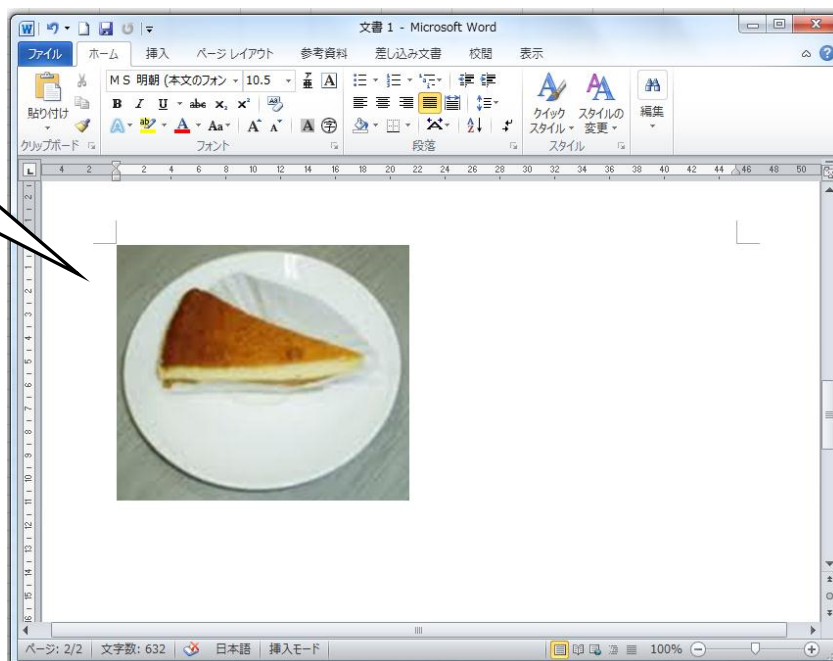
上下左右に トリミングバンド（黒いバー）が表示されます。

② トリミングバンドをドラッグすると、ドラッグした分だけ非表示になります。



図の不要な部分が非表示になりました。

余白の部分をクリックするとトリミングが解除になります。



4) 画像を圧縮するには

文中に大量の画像を貼り付けるとファイルのサイズが大きくなってしまい、電子メールの添付ファイルとして送付するときに相手側に送信できなかったり、印刷や編集するときなどに大変に時間がかかったり、といったトラブルが発生しやすくなります。

そこで Word には文中に貼り付けた画像の解像度を下げて文書ファイルのサイズを小さくして保存する、図の圧縮機能が用意されています。

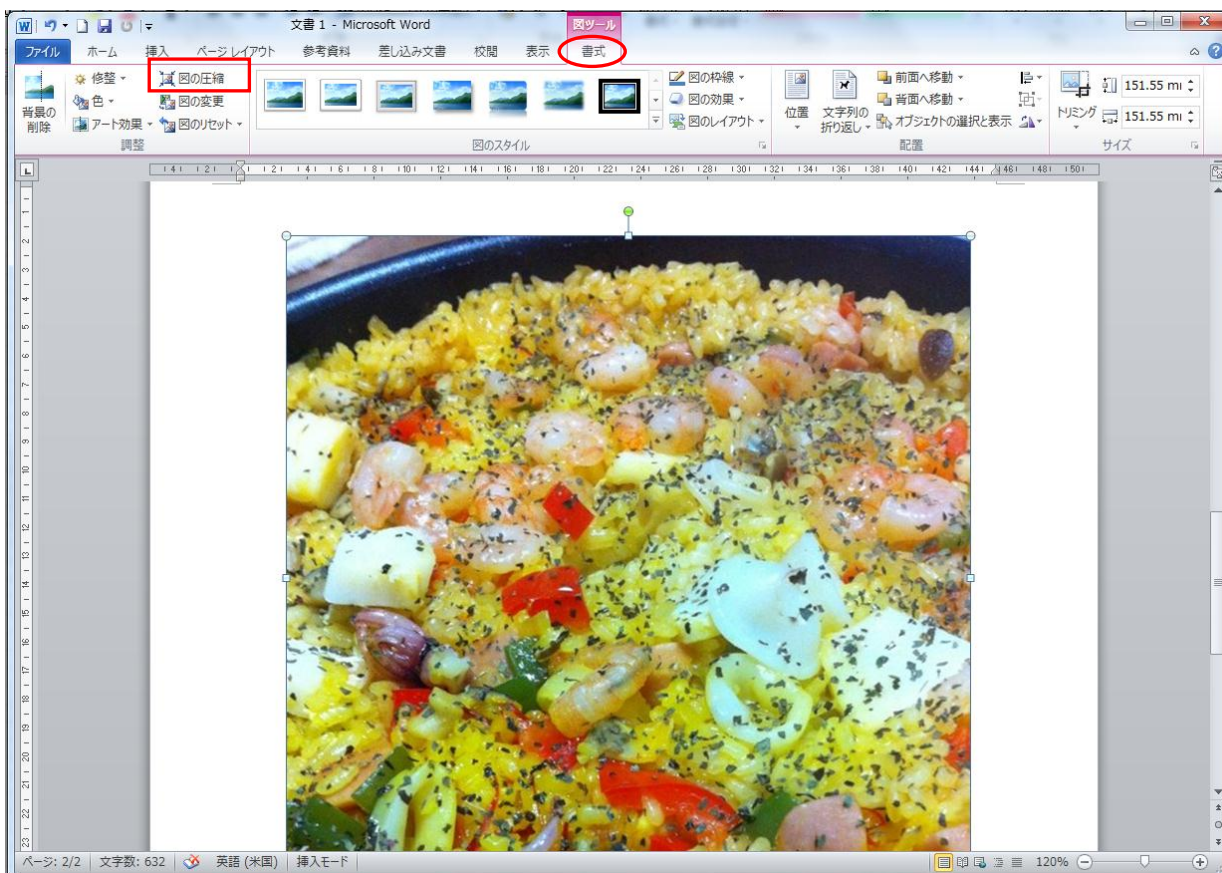
この機能を実行しても、元の保存場所にある画像ファイルのサイズは変更されません。見た目にもあまり変化はありません。

※ ただし、いったん圧縮すると元の画像の解像度には戻せなくなるので注意が必要です。

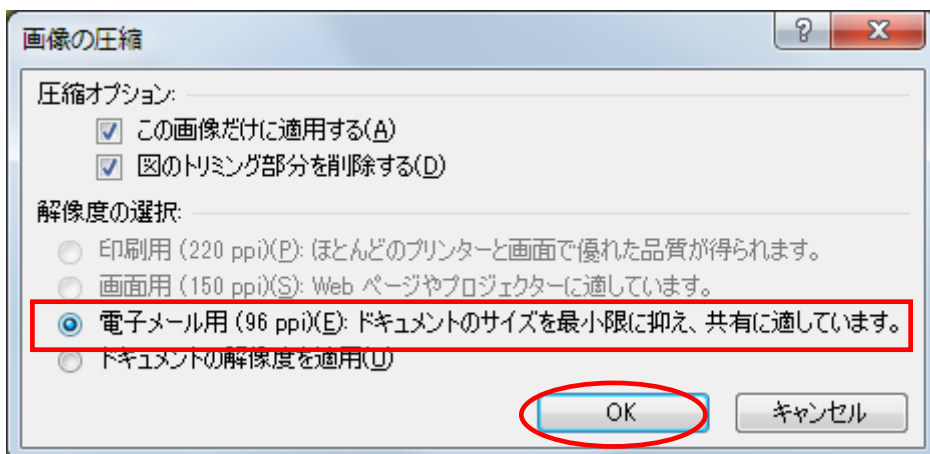
(電子メール用 (96dpi) を ON にして圧縮した画像の解像度 (96dpi) は、印刷用 (220dpi を ON にしても解像度を 200dpi に変換することはできません。) 電子メール送付用ファイルと印刷用ファイルは使い分けをしましょう。

ここでは電子メール送付用に圧縮します。

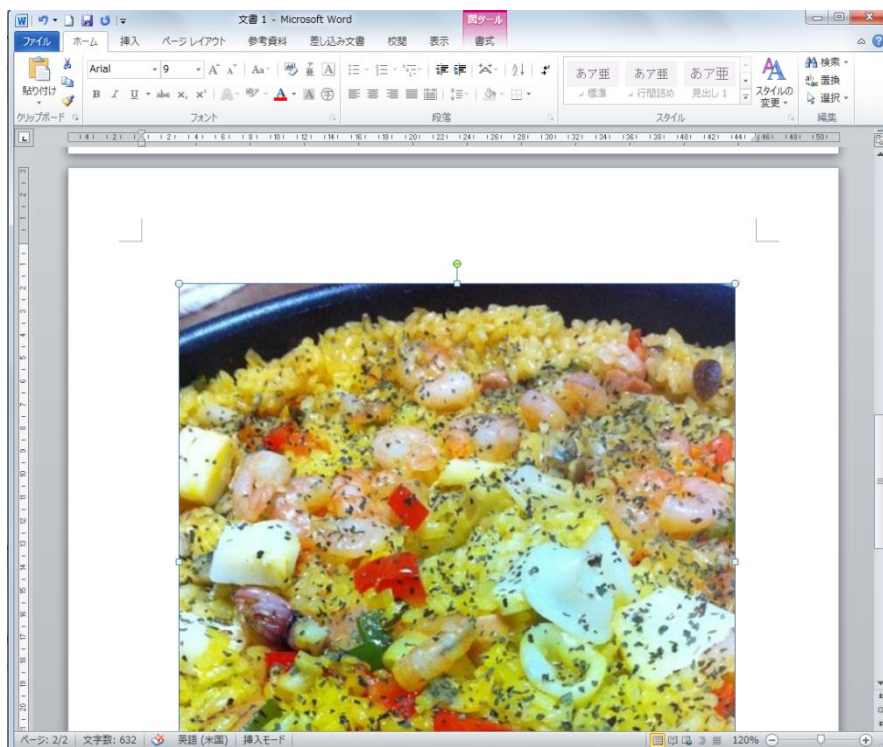
① 図をクリックして選択します。「書式」タブ → 「図の圧縮」をクリック。



② 「電子メール用…」を ON にして、「OK」をクリック。



画像が圧縮されました。

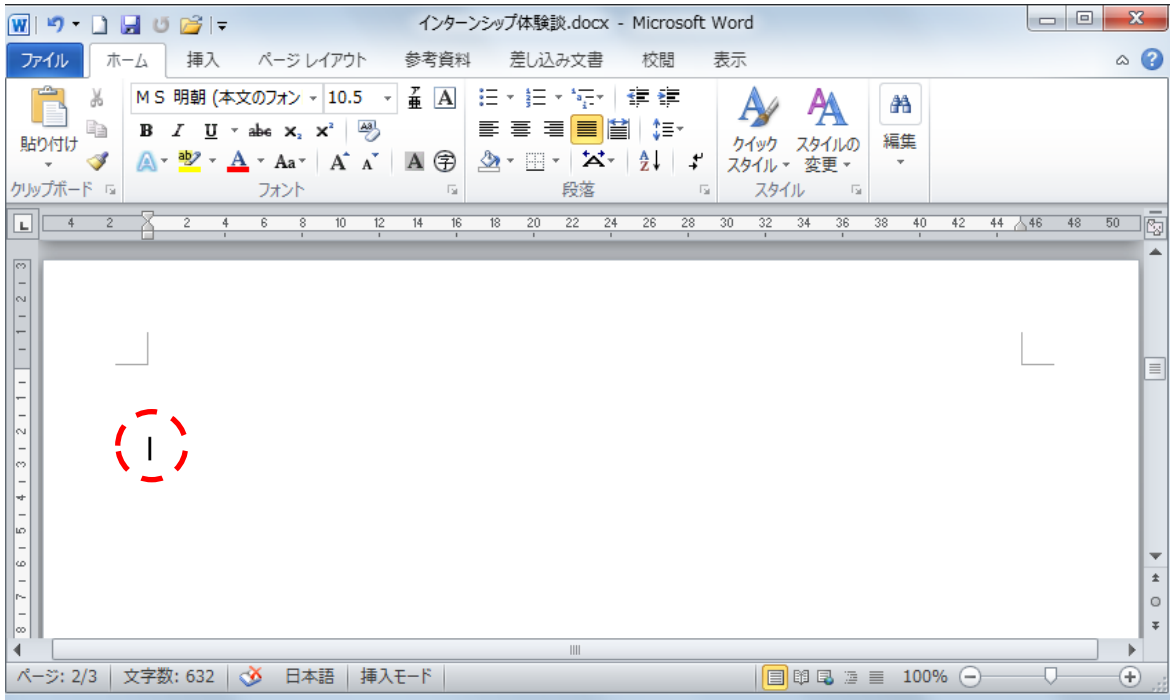


この操作の結果、
文書ファイルのサイズが 237KB から 62KB と大幅に小さくなりました。

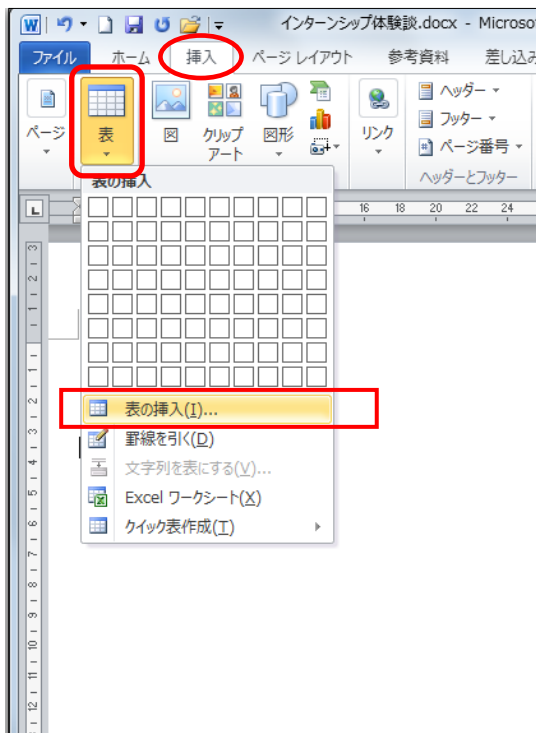
5) 表を挿入するには

「表の挿入」ダイアログボックスを使うと、表の列数、行数だけでなく、表のサイズ（列幅）も指定して表を作成できます。

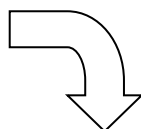
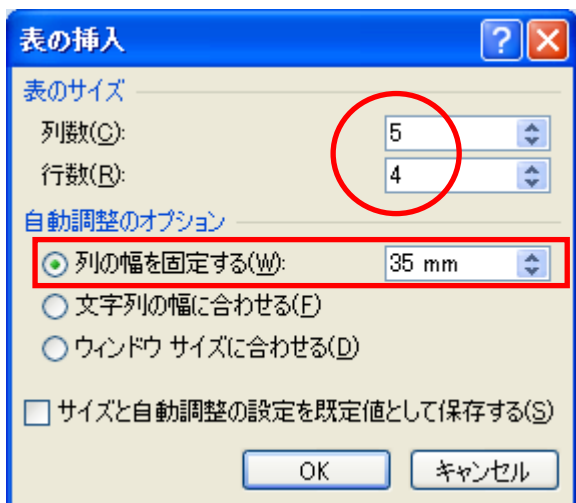
- ① 表を挿入する位置にカーソルを置きます。



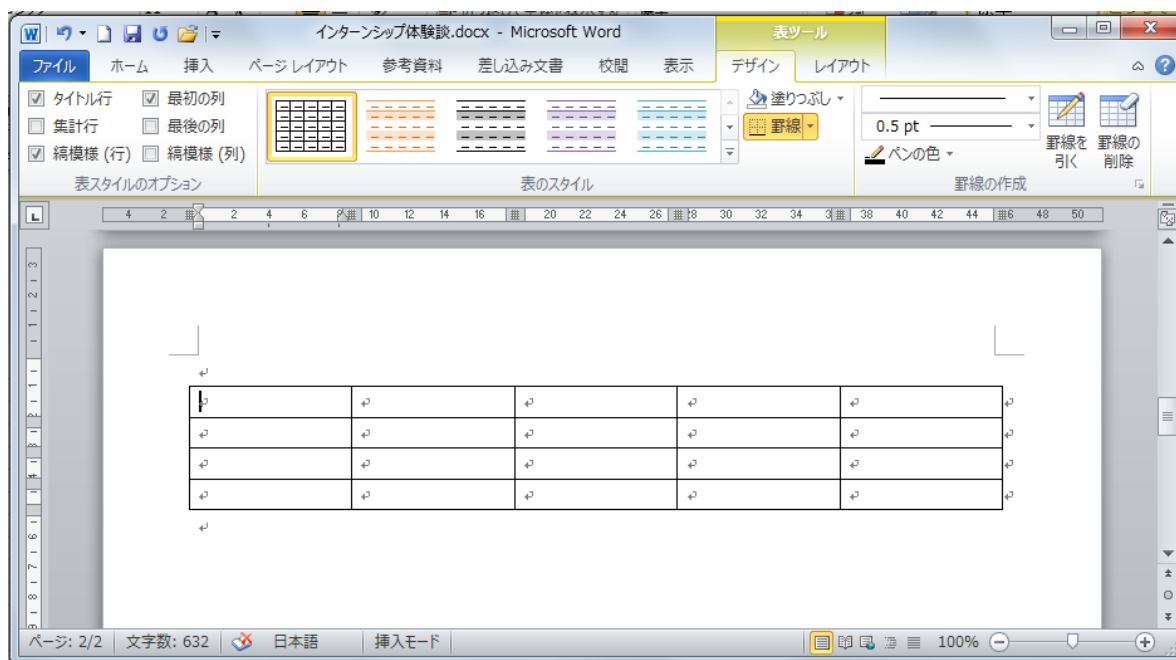
- ② 「挿入」タブをクリック → 「表」ボタンをクリック → 「表の挿入」クリック。



[表の挿入]ダイアログボックスが表示されました。

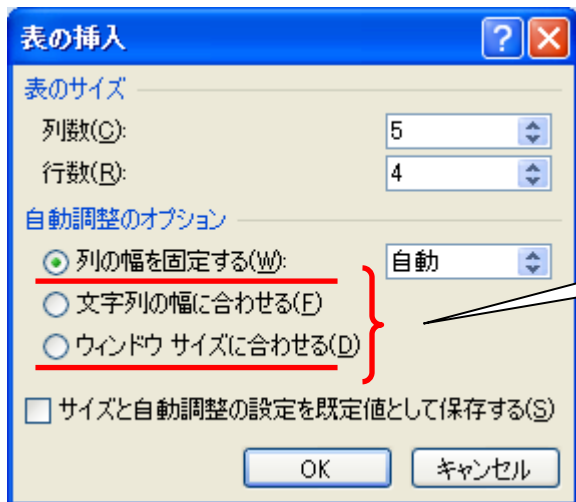


ここでは、列数が「5」行数「4」
列の幅が 35mm の表を作成してみます。



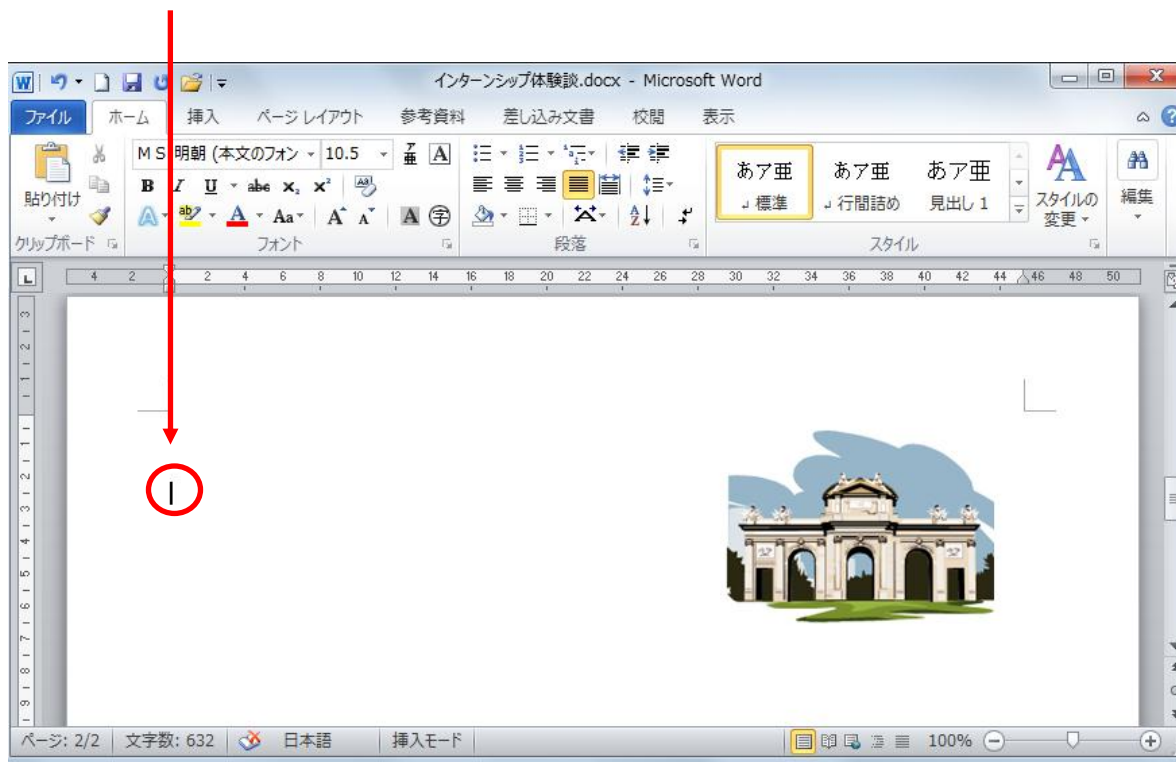
5列4行、列幅 35mm の「表」が挿入されました。

Point !

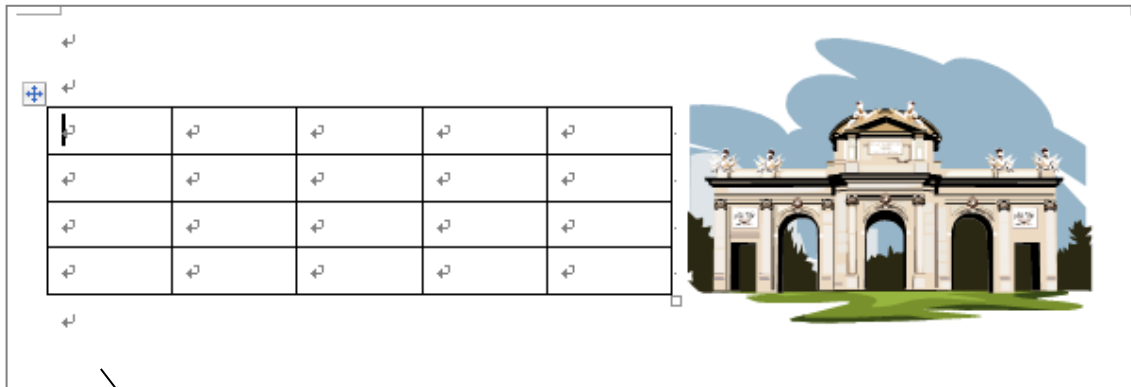


この2つの違いは？

たとえば この位置に表を挿入する場合、

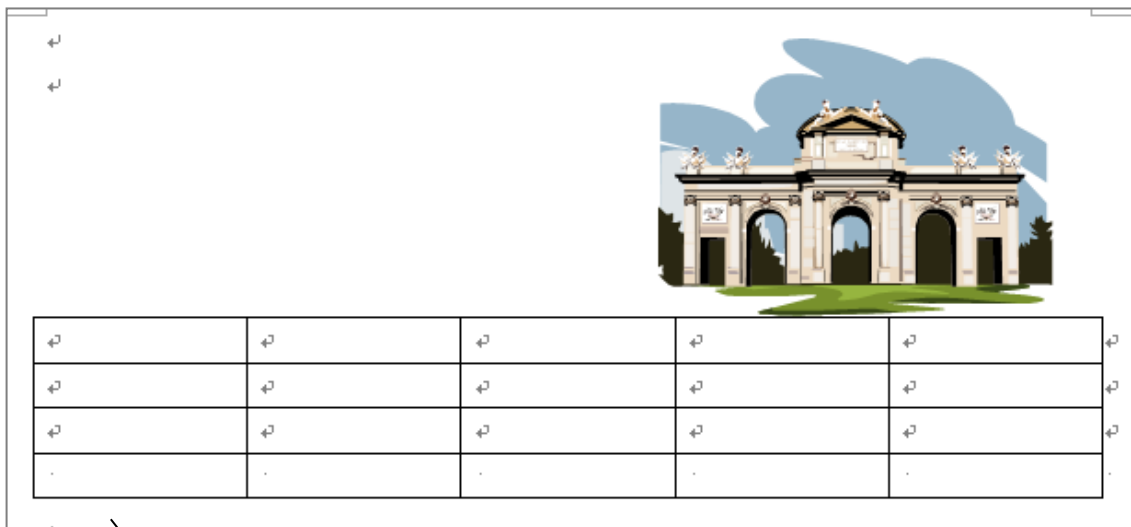


◆「列の幅を固定する」 - 「自動」の場合



イラストの分だけ、表のサイズが小さくなって表示されます。

◆「ウィンドウサイズに合わせる」の場合



イラストのある行を避けて、表をウィンドウサイズいっぱい
配置できる位置に挿入されます。

★ 表を修正するには

「表」内にカーソルをおいた状態で「レイアウト」タブをクリックすると、表に関する様々なレイアウトの変更ができます。

The image shows the 'Table Tools - Layout' ribbon in Microsoft Word. Red arrows point from specific icons to callout boxes:

- 行と列:** Includes '削除' (Delete), '上に行を挿入' (Insert above), '下に行を挿入' (Insert below), '左に列を挿入' (Insert left), and '右に列を挿入' (Insert right).
- セルの結合:** Includes 'セルの結合' (Merge cells), 'セルの分割' (Split cells), and '表の分割' (Split table).
- セルのサイズ:** Includes '自動調整' (AutoFit), '高さ' (Height) set to 6.4 mm, '幅' (Width) set to 34.3 mm, '高さ揃え' (Top align), and '幅揃え' (Left align).
- 文字列の方向とセルの配置:** Includes '文字列の方向' (Text direction) and 'セルの配置' (Cell alignment).
- データ:** Includes '並べ替え' (Sort), 'タイトル行の繰り返し' (Repeat header rows), '表の解除' (Remove table), and '計算式' (Formulas).



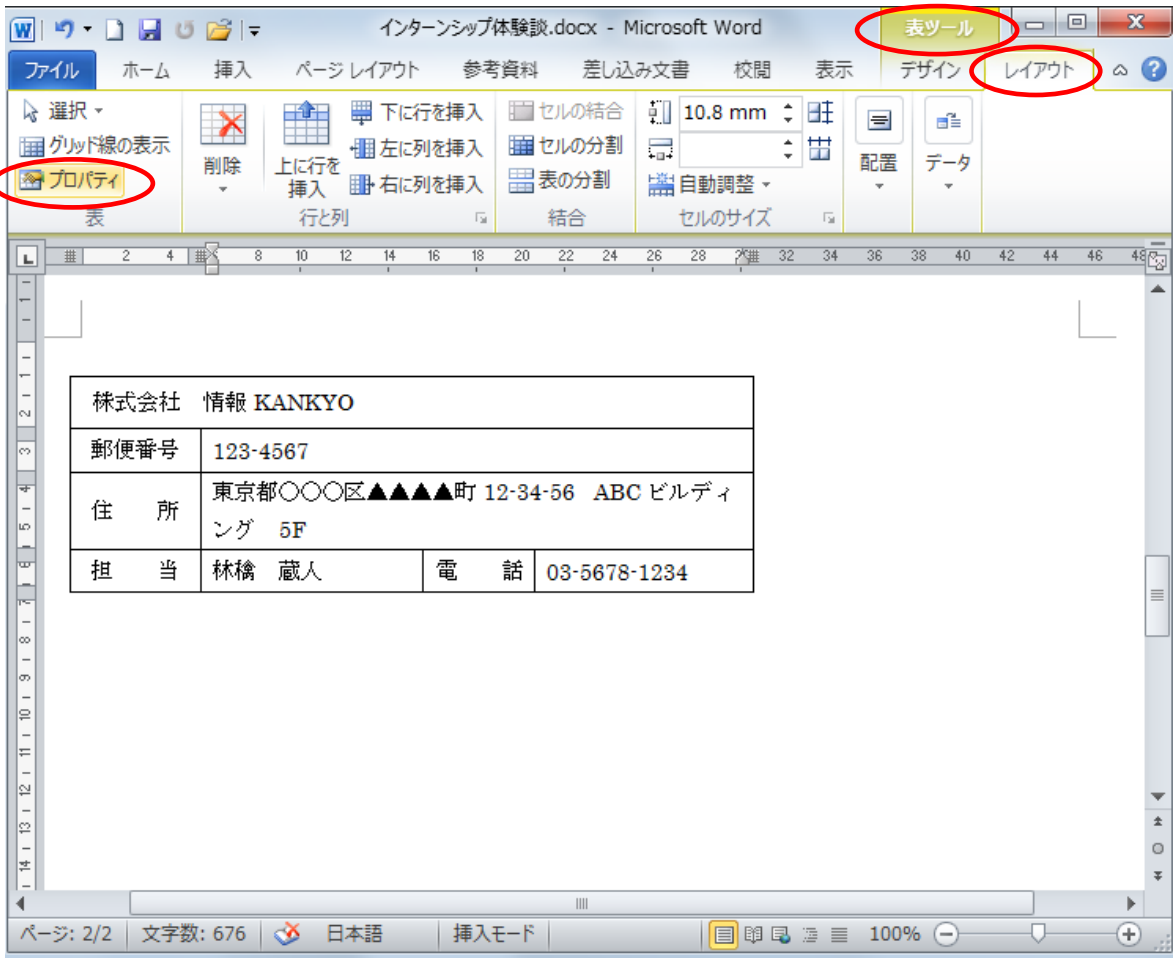
セル内に1行でおさまらない文字列をおさめるには。

表のセルで、1行におさめたかった文字列が2行になってしまった場合…。

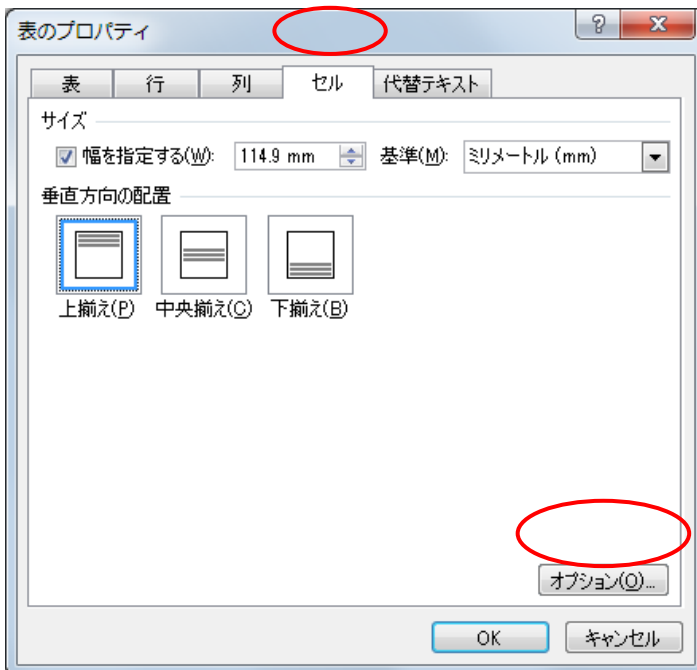
文字数が少し多いので2行になっています。

株式会社	情報 KANKYO
郵便番号	123-4567
住所	東京都〇〇〇区▲▲▲▲町 12-34-56 ABCビルディング 5F
担当	林檎 蔵人
電話	03-5678-1234

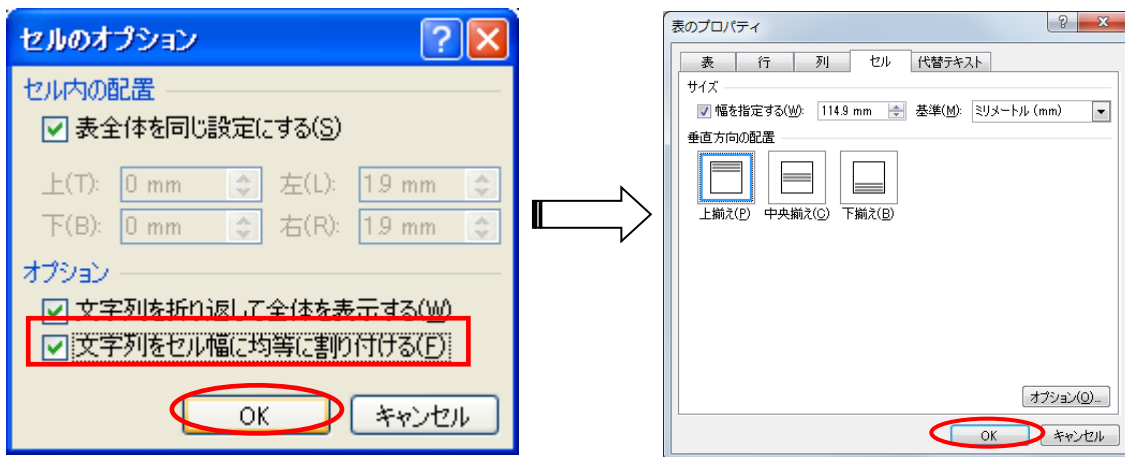
- ① セル内にカーソルをおいて、表ツール→「レイアウト」タブ→「表」グループ→「プロパティ」をクリックします。



- ② 「セル」タブをクリック。→ 「オプション」をクリックします。



③ 「文字列をセル幅に均等に割り付ける」に☑を入れて「OK」。さらに「OK」。



文字列全体に長体がかげられ、1行におさまりました。

株式会社 情報 KANKYO	
郵便番号	123-4567
住所	東京都〇〇〇区▲▲▲▲町 12-34-56 ABCビルディング 5F
担当	林橋 蔵人 電話 03-5678-1234